

地球環境基金 便り

- 巻頭インタビュー：米村でんじろうさん……………2
- 特集：注目！高校生の環境保全活動……………4
- 助成団体レポート：Orca.orgさかまた組……………10
- サポーターインタビュー：オリンパス株式会社……………12
- 地球環境基金のサポーター……………14
- 「特別助成」がスタート！……………15



特集

注目！

高校生の環境保全活動

注目！高校生の 環境保全活動

第1回 全国ユース環境活動発表大会 出場高校(20校)

主催：環境省、独立行政法人環境再生保全機構、
国連大学サステナビリティ高等研究所
開催日：2016年2月13～14日
開催場所：国連大学ウ・タント国際会議場

環境大臣賞

●静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班
三保松原の環境づくりを目的とした
循環型松原共生プロジェクト

環境再生保全機構理事長賞

●京都市立伏見工業高等学校
マイクロ水力発電グループ
水車プロジェクト

先生が選ぶ特別賞

●東筑紫学園高等学校 理科部
広谷湿原保全プロジェクト
広谷湿原を含む平尾台カルストを
ラムサール条約に!!

高校生が選ぶ特別賞

●愛知県立佐屋高等学校
除草戦隊アヒレンジャー
アヒル農法でホタル舞う水田環境を実現

以下優秀賞

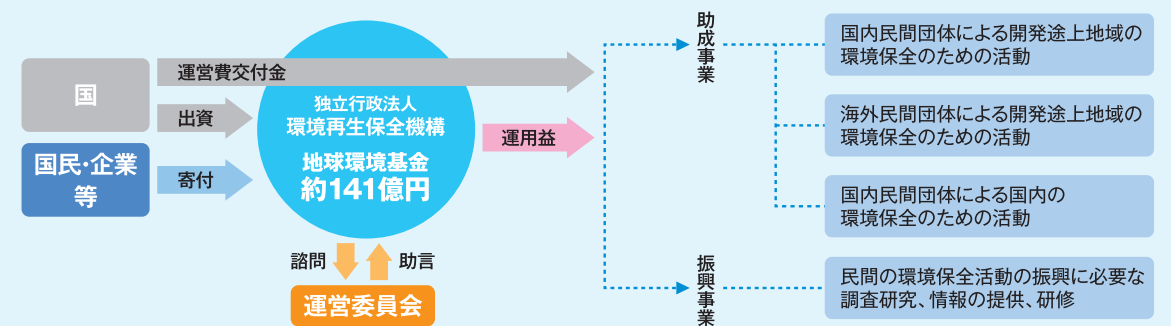
- 北海道旭川農業高等学校 森林環境班
ササの有効利用2015
～森林バイオマスとしてのササ資源の利用～
- 青森県立名久井農業高等学校
TEAM FLORA PHOTONICS
種差海岸におけるサクラソウ自生地の保全活動
- 山形県立村山産業高等学校 農業部バイオ研究班
高校生の挑戦
県民を巻き込んだ保護活動はできるのか?
- 群馬県立伊勢崎興陽高等学校 植物バイオ研究部
廃棄野菜の総合的な活用 ～興陽E3から興陽E4へ～
- お茶の水女子大学附属高等学校
グローバル総合・環境・服チーム
ファッションと環境問題 ～(服)で地球に幸(福)を～
- 静岡県立富岳高等学校 キノコ研究班
富士で生まれた「究極のエコ資材」～被災地の緑を守る～
- 名古屋市立名古屋商業高等学校 商品開発研究班
章から Zoo
- 岐阜県立加茂農林高等学校 林業工学科 環境班
ポップコーンで 日本を爆発!!
～耕作放棄地の活用方法の提案～
- 京都府立綾部高等学校 分析化学部
由良川レンジャー緊急出動! 由良川を守れ!
- 清風学園 清風中学校・高等学校 生物部
守ろう、八尾の生態系! ニッポンバラタナゴとドビ流し

- 兵庫県立播磨農業高等学校 畜産科肉畜コース鶏班
ゼロ・エミッションで兵庫を元気に
～播磨から始まる新たな物語～
- 山陽女子中学校・高等学校 地歴部
瀬戸内海の海底ごみ問題の解決に向けての取り組み
～海底ごみの「見える化」と「つながる化」プロジェクトを通して～
- 徳島県立小松島西高等学校 勝浦校・
徳島県立新野高等学校
緑のリサイクルソーシャル・エコ・プロジェクト・チーム
緑のリサイクルモデル・刈草堆肥でストップ温暖化!
- 愛媛県立宇和島水産高等学校 水産増殖科
ESDの観点による宇和海の環境保全活動
- 大分県立大分東高等学校 リボベジ研究会
いつでも、だれでもどこでもできるエコ活動。
リボベジによるゴミ減量
- 長崎県立島原農業高等学校 食品加工部
循環型椎茸菌床栽培法及びバイオエタノールの生成



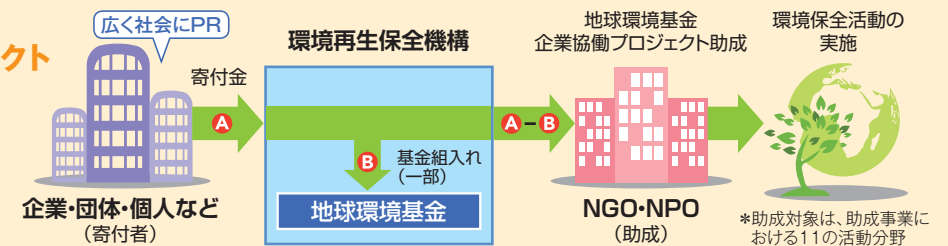
地球環境基金とは

環境再生保全機構は、国の出資金と民間からの寄付金により「地球環境基金」を設け、その運用益と国からの運営費交付金により、国内外の民間団体(NGO・NPO)が行う環境保全活動へ支援を行っています。



寄付者の貢献が目に見えるしくみ 地球環境基金企業協働プロジェクト

企業・団体・個人などからの寄付を原資に、地球環境基金が寄付者名を明らかにして、国内外の民間団体(NGO・NPO)が行う環境保全活動へ直接助成を行います。



詳細は、<http://www.erca.go.jp/jfge/kigyuu/gaiyo.html>



表紙写真

第1回全国ユース環境活動発表大会で入賞した高校の活動写真(愛知県立佐屋高等学校)、マイクロ水力発電の設置(京都市立伏見工業高等学校)、三保松原での植樹(静岡県立静岡農業高等学校)の様子

編集後記

本号では、未来を担う「高校生の環境保全活動」を特集しました。机の上だけでなく、活動することによって得られた知識や情報を発信していく若いエネルギーをお伝えできれば幸いです。

平成27年度に助成した民間団体の環境保全活動206件の成果を「地球環境基金の情報館」に掲載しました。ぜひご覧ください。 <https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/organization/report/h27/index.html>

自分の手を動かして 原理を知ることの大切さ

実験プログラムを企画・考案し、テレビやサイエンスショーを通じて皆さんにご紹介していますが、僕がこだわっているのは「原理が分かり、なるほど!」と思ってもらえること。なぜなら、それが科学本来の面白さだからです。たとえテレビ向きではない地味な実験でも、自分でやってみて納得すると、いろいろなモノのつながりが見えてきたり、世界の見え方が変わってくる。そういう変化こそが「面白い」のです。

例えば、木炭電池。今では理科の教科書にも載っている

楽しい実験で科学の「なぜ?」「どうして?」を解き明かす

サイエンスプロデューサーとして活動を始めて約20年。私たちが「なるほど、そうだったのか!」と深くうなずかせたり、あつと驚くような実験を見せてくれる米村でんじろうさん。今や、そのプログラムは数百年にも上るといふ。

そんなでんじろうさんの実験にかける思い、そして見る人の心に残るプログラムづくりのコツについて、お話を伺いました。

米村でんじろうさん

メートルの大きな袋を作ります。それを外に持ち出し、うちわで膨らませて口を結ぶ。太陽が照っていれば中の空気の温度が50〜60度にもなるので、ぐんぐん膨らみ、結構よく上がるんです。空気をたくさんためられるよう、袋のサイズは大きくするのがポイント。

生徒たちはみんな、その浮力の大きさにビックリしますね。うっかり手を離そうものなら、どこまでも上空へと上がってしまう…。ソーラーバルーンを上げることが、目に見えない大気の流れをイメージするきっかけになるのです。いわゆる「環境」の話をしなくても、こうした実験や遊びを通して多くのことが実感できます。

ただ、同じ実験でも教師時代と今では、重点を置くポイントが変わってきました。教師のころは、教科書やカリキュラムといった枠から大きくはみ出すわけにはいかなかったし、生徒が原理を理解できたかどうかテストで確かめる必要もありました。でも今は、「分かった?」と逐一確認することはありません。ワークショップなどでは、「何かを学ばなければ、ここに参加した意味がない」という親御さんが意外に多いのですが、学校教育ではない広い意味での社会教育の場であれば、「面白かった!」だけで十分になっているはずですよ。

出前授業などで子どもたちの前に立つことも多いN G O・N P Oの皆さんへのアドバイスとしては、「予定調和はやめよう」と言いたいですね。せっかくワクワクする体験をしているのに、最後に主催者の伝えたいことで「まとめ」をしてしまうと、楽しさは半減するし、心にも残りません。結論ありきではなく、体験する中で一人一人が感じるものが大切。そこで得た「ビックリ!」「なるほど!」という感覚は一生忘れないと思います。

すが、備長炭にキッチンペーパーを巻いて塩水をかけ、その上からアルミホイルを巻き付けければOK。これで、実際にモーターを回したり、ラジオを聞くことができます。そもそもアルミはボーキサイトから大量の電気を使って作られるので、その製品であるアルミホイルはエネルギーの塊といえます。その証拠に、電気を取り出した後のアルミホイルはボロボロに…。この実験から、木炭が電池になることやエネルギーの循環が分かります。子ども向けのワークショップなら、アウトドア感覚で、廃材や枯れ木を自分たちで焼いて炭を作るところから始めてもいいですね。

この実験には特別なものは必要ないし、木炭は洗って何度でも使えます。このように、身の回りにあるモノでもできることも大切なポイント。実験器材のそろわない所でもできるので、もっと広がればと思います。

実験を通して 「環境」を実感してみよう

太陽エネルギーや地球温暖化といったテーマを学習するとき、ともすれば図で原理を説明するだけになりがちですが、それでは実感が湧きません。

そこで、ソーラーバルーン! これは高校教師時代に始めた実験ですが、黒いゴミ袋を何枚か使って二辺が4〜5

米村傳治郎(よねむら・でんじろう)
1955年千葉県生まれ。東京学芸大学大学院理科教育専攻科修了後、自由学園講師、都立高校教諭を勤めた後、広く科学の楽しさを伝える仕事を目指し、96年4月独立。NHK「オレは日本のガリレオだ!」に出演、話題を呼ぶ。98年「米村でんじろうサイエンスプロダクション」設立。現在、サイエンスプロデューサーとして科学実験の企画・開発、各地でのサイエンスショー・実験教室・研修会の企画・監修・出演、各種テレビ番組・雑誌の企画・監修・出演など、さまざまな分野・媒体で幅広く活躍中。



ペンシルバルーンを使った静電気の実験。目に見えない電気も、こうすれば実感できる!



紙とハサミ、ホチキスだけで誰でも簡単に作れるペーパープーメラン

*写真提供:米村でんじろうサイエンスプロダクション



段ボール箱で作った空気砲。箱の中にためた煙を使うと空気の動きがよく分かる

Denjiro Yonemura

注目! 高校生の環境保全活動

特集

高校生大いに語る「第1回高校生環境座談会」を開催

現在、高校生による自主的な環境保全活動が全国各地で展開されています。こうした中、環境再生保全機構は地球環境基金に全国ユース環境ネットワーク事務局を設置し、全国の高校生やユースの環境活動を応援しています。本号では、自主活動続ける現役高校生6名に集まっていただき、環境にける思いを語ってもらいました。

座談会参加高校 (神奈川県横浜市) 法政大学女子高等学校 エコ・アクション・プロジェクトチーム
(茨城県つくば市) 茨城県立竹園高等学校 JRC部 (Junior Red Cross青少年赤十字)
(宮城県名取市) 宮城県農業高等学校 科学部 “復興プロジェクトチーム”

座談会主催 地球環境基金 全国ユース環境ネットワーク事務局

最初に、それぞれの学校と普段の活動内容を紹介してください。

永野 法政大学女子高等学校 (以下、法女) は横浜にある私立高校です。名誉校長であった野上弥生子先生の「女性である前にまず人間であれ」という教えの下、生徒は自由に伸び伸びと生活しています。ハロウィーンの日には、お化けやキャラクターに仮装した生徒が普通に授業を受けている、そんなとても面白い学校です。

若尾 私たちエコ・アクション・プロジェクトチームは「持続可能な環

境と社会の実現」を目指す有志生徒の集まりです。活動し始めて3年目、約40名で環境問題に取り組んでいます。これまでに利用駅周辺の清掃活動、学内の節水節電、学食から出た廃油をせっけんに精製・配布する運動などを行ってきました。

内澤 茨城県立竹園高等学校 (以下、竹高) は、筑波研究学園都市初の公立高校として1979年に開校し、今年で創立38年目を迎えました。普通科と国際科の2学科があり、進路希望の実現はもち

ろん、「国際社会をリードする人材の育成」を教育目標に掲げています。僕たちは毎日楽しく、バリバリ勉学に励んでいます。

秋葉 団体名のJRCは、Junior Red Cross (青少年赤十字) の略で、簡単にいうとボランティア部です。17名で活動していて、主に災害被災地への義援金の募金活動や、ペットボトルキャップ・古紙回収、献血の呼び掛けなどを行っています。昨年の常総市の洪水被害の際は、校内で絵本を集め被災した子どもたちに500冊を寄付。

それから、毎年古紙回収で得た収益でつくば市に車椅子を寄贈していますが、それが8台目となりました。

渡邊 宮城県農業高等学校 (以下、宮農) は、1885年名取市に開校した日本最古の農業高校で、農業科、園芸科、生活科、食品科学科、農業機械科があります。校舎は東日本大震災の津波で流されたため、現在は宮城県農業大学の敷地内にある仮設校舎で学んでいます。

佐藤 科学部の部員は12名で、復興プロジェクトチームとして沿岸部にサクラとバラを植え、緑を取り戻す活動を行っています。バラは中国の東北地方・貴州省から県内に伝わった刺梨(ツリー)という品種を育て、その果実を利用したお茶を商品化したり、ジャムなどを作っています。

日々の活動を通して環境について、どんなふうに考えていますか？

若尾 高校は京浜工業地帯にあり、大気汚染や排水汚染などはこの30年で随分改善されましたが、まだ不十分。人間がモノの豊かさを追求した結果、新たに生態系破壊や地球温暖化といった問題が起きています。



左から
茨城県立竹園高等学校の秋葉俊祐さん(3年)、内澤謙昇さん(3年)、
宮城県農業高等学校の佐藤亜記さん(2年)、渡邊翼さん(2年)、
法政大学女子高等学校の若尾咲輝さん(3年)、永野日奈子さん(2年)

座談会参加者

内澤 そう、確かにあらゆる面で便利になったけど、日本だけでなく地球環境全体が急速に悪化している。

永野 人間は便利なモノを開発し、中には革命的なものもありますが、その便利さに甘え、どんな欲が出てきてしまった。その結果が温暖化なので、元に戻すのは人間の役目だと思います。

秋葉 便利な生活を求めて機械化が進み、どんどん電気を使う。その意味を深く考えることは大事だけど、誰でもすぐできる節電・節水

も大事じゃないかな。

渡邊 地元のことでいえば、やはり東日本大震災で岩手や宮城の自然全体が大きく変わったと思う。沿岸部では草木をすみかにしていた昆虫が消え、内陸部でも山を崩して土砂を採取するので緑がなくなり、野生動物に影響が出ています。

佐藤 良質な土壌を10cm作るのに千年、1cm作るだけでも百年かかるというわれています。東北の自然を回復するには、農業や微生物の力を借りるなどして、私たち人間が

手助けしなくてはと思います。皆さんがほぼ50歳になる2050年に向けてはどうですか？

佐藤 私たちは今、サクラの植樹を進めています。この活動が広がっていけば、34年後の東北はもつと緑にあふれていると思います。

渡邊 僕も、東日本大震災で失った緑を取り戻すことが一番大事だと思っています。

永野 一人の力は知れているけれど、今やっている活動や問題意識をみんなに広げていくことが大切



茨城県立竹園高等学校
先輩が企画制作した「環境かるた」。つくば市内の小学校で教材として使われている



宮城県農業高等学校
バラの一種「刺梨(ツリー)」を育て、それを果実茶として商品化。おいしい!



法政大学女子高等学校
学食から出た廃油を精製し製作したせっけん。校内などに配布した

第1回 全国ユース環境活動発表大会



2月13日、14日の2日間、東京の国連大学で第1回全国ユース環境活動発表大会が開催されました。全国から131件の応募があり、審査を経て代表20高校が出場しました。1日目は「ESD学びあいフォーラム」、2日目には「発表大会」が行われ、表彰式には丸川珠代環境大臣も出席されました。

- 主催** 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会
(環境省、独立行政法人環境再生保全機構、国連大学サステイナビリティ高等研究所)
- 協力** 認定NPO法人 JUON NETWORK、
NPO法人エコ・リーグ、
全国大学生環境活動コンテスト実行委員会、
WWFジャパン
- 協賛** キリン株式会社、協栄産業株式会社

三保松原の環境づくりを目的とした循環型松原共生プロジェクト



2013年に世界文化遺産に登録された三保松原では、5万本あった松が3万5千本までに減少。その原因は観光バスなどによる環境汚染、放置松葉による土壌の富栄養化にあることに着目。観光客には松原から遠く離れた駐車場の利用を呼び掛け、放置松葉については入浴剤の素材として活用するなど、地域と連携して活動を展開している。

環境大臣賞

静岡県立静岡農業高等学校
松葉研究班



水車プロジェクト マイクロ水力発電で用水路を活かし里山環境を守る



水資源の中でも特に灌漑用水路に着目し、マイクロ水力発電でエネルギーの地産地消を目指した活動。注目すべきは、地域の農業生産団体、自治会などと連携し「水車学習会」「水車作りワークショップ」を継続的に開催していること。2012年度からスタートした本プロジェクトにより、近畿一円の18地域で約50基の水車が稼働している。

環境再生保全機構 理事長賞

京都市立伏見工業高等学校
マイクロ水力発電グループ



■小澤紀美子審査委員長講評
(東京学芸大学名誉教授)

活動報告を聞き、日本の高校生の素晴らしさを再認識しました。以前、文科省で環境教育に取り組んだことがありますが、今こうして花開いている。審査委員長としてお礼を申し上げます。

全国ユース環境活動発表大会 協賛企業
私たちは全国のユースの環境活動を応援しています。

KIRIN
キリン株式会社

KYOEI
協栄産業株式会社

注目! 高校生の 環境保全活動



宮城県農業高等学校

茨城県立竹園高等学校

法政大学女子高等学校



座談会の休憩時間に刺梨の果実茶を試飲(宮農)

若尾 私は、仕組みづくりが必要だと思います。例えば、レジ袋。エコバッグを持つ人もいますが、今でも当たり前のように使われたり、2円ですべて使われています。それはレジ袋がまだあるからで、なければ買わないし使わない。極端な話ですが、環境に悪いモノをなくすのも大切だと思います。あとは、レジ袋や紙袋を使わなければポイントが付くとか、割引になるとか。そうすれば、自然と環境に配慮した行動ができるのでは？

佐藤 それ、いいと思います。企業が気付かないと実現できないから、私たち高校生がその考え方を広めるために動かないといけない。

内澤 今、すごく感動した！レジ袋をくれないと、その店で買い物をしなくなるかと思ったけど、環

境を第に考えるなら、売らない、渡さない。そういう仕組みを作れば、周りを巻き込むことができるので、これはスゲーって思いました。

秋葉 個人的なことになりますが、ソーラー発電に興味があります。工学系の大学に進んで、屋根に液体を塗るだけで発電できるとか、そんな新しいタイプのソーラー発電を開発して持続可能な社会のために貢献できたらと考えています。

各校それぞれの環境宣言を作り、発表してください。

若尾 私たちの考えた宣言は「発信」です。より多くの人に環境問題について知ってもらうことが大切で、知るからこそ行動に移せると思います。まず、環境問題や持続可能な社会について伝える。それを聞いて理解した一人一人が環境を心掛けたり行動を起こす。10人集まれば、10の力にもなるわけです。そして次は、知った人が発信すること。発信手段にはSNSやインスタグラムなどのITを使います。持続可能な社会を実現するには、伝える知る発信するという3つのサイクルを回すのが良い方法なのではと考えました。

内澤 対照的だな。竹高は「地

道に」という宣言にしました。個々の力できることって本当に少ないと思うんです。学校全体だったから千人近くいるのですが、やっぱりやるのは自分たちで、急には変わらない。環境問題が大きく解決されることに越したことはないけれど、僕は一つ一つ積み重ねていかないと解決できないと思っているので、個人ができる節電、節水、ゴミを捨てること、リサイクルなどが重要ではないかと思いました。

渡邊 僕たちは「緑を増やす!!」。はつきり言つて、被災地に緑がないということは、地元にはないと思わないと思うのです。そんな現状を多くの人に知ってもらいたいし、緑を増やす技術を広めたい。宮城の沿岸部では、(塩害などで)植物を普通に植えただけでは枯れてしまうので、栽培技術を持つ人、農業者を増やすことが大事。それが緑を増やすことにつながっていくと思います。

若尾 メディアの仕事に就くことです。環境問題を学んだからこそ、伝えられることがあると思います。自分が学んだことをしっかりと後世に、そして今を一緒に生きる世

代の人にも伝えていきたい。

永野 世界で活躍できる人材になること。やっぱりどこかで環境に関わる、例えば動物を保護する団体に関わっていくとか、環境に貢献できたらいいなと思っています。

内澤 車の排気ガスに含まれる有害成分を浄化する触媒技術は日本が世界のトップクラスなので、工学系に進んで学び、中国やインドなど大気汚染を抱える国々にも技術提供できたらと思っています。

秋葉 将来はプログラミングや設計の分野で仕事をしたい。先ほど話したように、今までにないタイプのソーラーパネルなども作ってみました。

佐藤 漠然とですが、本に関わる仕事か公務員になりたいと思っています。公務員であれば地域の環境に関われるし、本の仕事なら環境の大切さを本を通して伝えられるからです。

渡邊 将来の夢は中学生のときから決まっています。家業の畜産を継ぎます。ただ農業をやるのではなく、自然環境に配慮した農業とか、畜産ふん尿のリサイクルなども自分の代でできたらと思っています。

皆さん、夢に向かって頑張ってください。期待しています！

Case 04

若者がつなぐ新しいわ



鹿旅館(あわら温泉)の設置された日本庭園での竹やぶ伐採ボランティア

活動名

若者による若者のための里山集落
～結(ゆい)プロジェクト

団体名

福井市自然体験交流推進協議会
<http://fukui-kyougi.com/>

若者を対象に、県内各地の里山集落で展開するプロジェクトです。中心となるのは農村文化を継承する「地域の学びプロジェクト」と、景観保全活動を地域住民と協働で行う「ふるさと結ボランティア」。さらに、福井の里山集落に暮らす若者によるネットワーク「むらの担い手ネットワーク」を構築し、各地域の意欲ある若者や地域住民と連携しながら本プロジェクトを実施していきます。

対象
大学生以上の若者

ひとことメッセージ

農山村の自然環境は荒廃の一途をたどっています。地域の人だけにまかせるのではなく、若い世代もどんどん参加しましょう。素敵な出会いも待ってます(事務局:伊藤弘晃さん)



特有のそば文化「丸そば」のそばづくり体験活動(坂井市竹田地区)

オリエンテーリング形式で
地域内を歩き、
地域資源の再発掘を行う
「ムラロゲイニング」



Case 03

八郎湖の環境再生に若い人の力を！



八郎湖の代表的な環境学習メニュー、植生再生地点における水質浄化のための水草の植え付け

活動名

未来の八郎湖の環境再生活動を担う若い世代の育成

団体名

特定非営利活動法人はちろうプロジェクト
<http://www.facebook.com/hachipro865/>

八郎湖にテーマを絞って長年にわたり活動してきた結果、「小学生のころ、八郎湖の環境学習を受けたことがある」という若者が現れてきました。本プロジェクトではそのワンステップ上を目指し、環境保全活動を行う若いリーダーを育てることを目標としています。指示してやらせるのではなく、本人たちのやる気を起こさせるプログラムを中心とする、地域と連携して行う活動です。

対象
中・高生
大学生

ひとことメッセージ

この地で、若い世代が希望を持って取り組めるプログラムを、一緒に作りたいです。興味のある方、ぜひかだて(秋田弁で「参加して」)ください。(事務局:鎌田洋平さん)



地域で長年途絶えていた盆踊りを復活させた「山田の盆踊り復活プロジェクト」



大学生も自主研究で八郎湖の素晴らしさを再認識

Case 02

持続可能な未来へ、いま、一歩踏み出そう！



答えのない課題に“チーム”で挑戦する21世紀型教育プログラム

活動名

2030ミライチャレンジプロジェクト
～持続可能な開発目標をテーマに2030年に向けたアクション活動を創り出すプロジェクト

団体名

こども国連環境会議推進協会
<http://junec.gr.jp/>

昨年9月の「持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標(SDGs)をテーマに、先進的活動をしている企業などと連携し、持続可能な未来へ一歩踏み出すためのアクションプラン作りのワークショップを、全国から中・高生を募集して開催。クラウドファンディングのプロジェクト制作をチームで企画するなど、より実践性の高い21世紀型教育プログラムです。

対象
中・高生

ひとことメッセージ

ミッションは、答えのない課題に対し、自分たちや社会が納得できるアイデアをチーム全員で挑戦し、世の中をより良いものに近付けることです。(事務局:井澤友郭さん)



アウトプットはクラウドファンディングのプロジェクト制作

楽しみながら学びを促していくプレッフルなワークショップデザイン

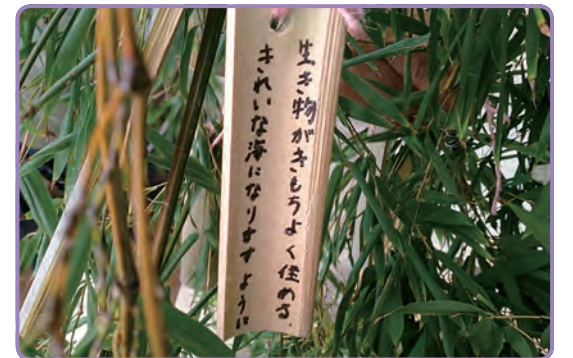


注目! ユースの環境保全活動

助成団体が行うユース向け活動から

Case 01

未来は過去から学ぶ！



生徒一人一人の思いを記したメッセージプレートが竹魚礁とともに海に沈める

活動名

海の鎮守の森プロジェクト
～森、川、海を築いてきた宗像海人族の叡智に学ぶ～

団体名

一般社団法人九州のムラ
<http://9mura.net/>

地元水産高校では、これまで魚付き林を侵食する竹を伐採し、魚礁として沖合に沈め藻場の再生に挑戦してきました。本プロジェクトはこれを継続発展させるものです。新たな実施場所は、日本海沿岸の海女発祥の地といわれ、現在でも現役の海女さんが活躍している、福岡を代表する漁港・宗像市の鐘崎です。宗像市内7校の中学生を対象に実践型環境教育として展開します。

対象
中学生

ひとことメッセージ

地元団体や民間企業と連携していく予定ですが、本やスマホで手軽に調べられるのではなく、地元の歴史や暮らしを実際に体験し、自分のものにしてほしいです。(代表理事:養父信夫さん)



竹が増え過ぎた魚付き林での竹の伐採

ドーム型、ピラミッド型と、さまざまな形の魚礁づくり

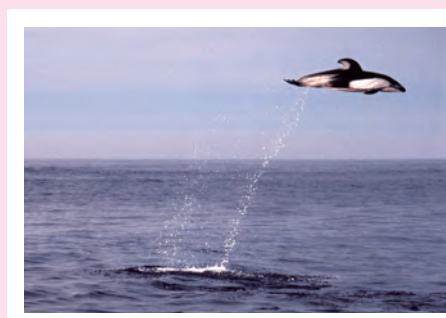


地道な調査・研究から 見えてくる環境変化

入門助成を経て、一般助成で2年目を迎えた「さかまた組」。代表の笹森琴絵さんは調査・研究活動の基本方針を、こう説明する。

「私たちの活動に対して、『同じことの繰り返し。何か新しい取り組みはないの?』と聞かれることがありますが、でも、地道な活動があつて初めて分かることも多いのです。」

調査活動では、調査船に乗り、シャチやクジラが現れた海の緯度経度、水深、水温、種別、頭数、群れの構成、行動(子育て、餌取り、求愛行動)、発見方法(体、噴気、鳥山、鳥が群れている)を記録します。そういったデータが蓄積されると、彼らがその海域に来る時期が分かってきます。釧路沖では、秋口と春口にイカやサ



噴火湾でのカマイルカのジャンプ

ンマ、イワシが取れます。イルカやクジラはそれを狙って集まり、さらにシャチもやって来ます。つまり、毎年春と秋には餌取りのために、来るんですね。

そして、その種を継続的に観察することで、海域の変

化も明らかになって

きます。種が現れる

時期が前倒しになっ

たり遅くなったり、

あるいは来なくなったり。それは、何

が起きたからなのだろうか、と。噴

火湾(内浦湾)の場合、スケトウダラ

の稚魚をカマイルカが食べて、夏の餌

場にしながら繁殖活動を行います。

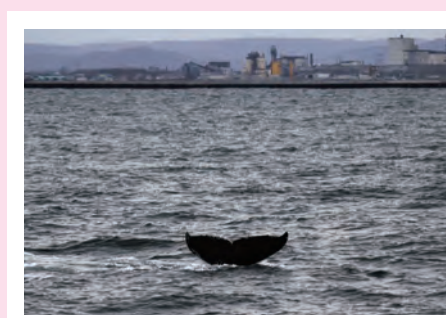
カマイルカの群れが定着せず、どこ

かへ行ってしまう年は、スケトウダラ

やカタクチイワシの漁獲量が減りま

す。イルカを見てみると、その海の状

態が手に取るように分かるのです」



釧路港からわずか1kmほどの海域に現れたザトウクジラ

シャチが来る、 それが海の豊かさの証です。

生態系ピラミッドの 頂点に立つシャチに注目

では、なぜシャチに注目するのか?

「イルカやクジラ、さらにその上のシャチは海の生態系ピラミッドのトップにいます。生態系ピラミッドは、下から順に植物プランクトン、動物プランクトン、小さな魚、大きな魚、イルカやアザラシ、シャチとい



海面に体を打ち付けるようにブリーチ(ジャンプ)するシャチ

ように形成されています。トップにいる生き物は、それより下の生き物がいなければ存在できないので、海洋環境の指標となるのです。つまり、生態系の頂点に立つシャチが多ければ、その下にいる生物の裾野も広いことを意味します。プランクトンやコンブ、大きめの魚といったピラミッドの土台が小さくなれば、人間はそ

調査・研究の成果を 環境教育に生かす

の海から何も得られなくなります。『なぜ、シャチのために海を守るのか?』と言う人もいますが、シャチが生きられなければ、人間も危ういのです」

北の海に鯨類が多いということは、それだけ生物多様性が保たれている証となる。

「さかまた組」は、地球環境基金の助成や地元行政などとの連携で、地域住民を対象にどのような環境教育活動を実施しているのか?

「市民向けの調査同行型体験ツ

アーを行っていますが、ただ見に行く

だけではなく、乗船の前後に必ず釧

路沖の海洋システムや来遊する生物

に関するレクチャーを行います。この

ツアー、最近では非常に人気があり、

定員40名のところに260名もの応募

があるんです。船のキャパシティー

や安全確保、調査目的であることな

どから、これ以上人数や回数を増や

せないのが悩ましいところですが、

乗れなかった人には講演会や写真

展、動画など、いろいろな入り口を用

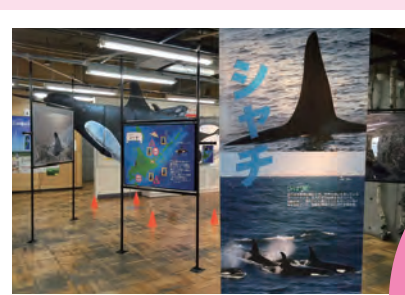
意して釧路沖の豊かさをアピールし

ています。北の海に興味を持ってい

だきたいし、この海は地元の宝物だ

と誇りに思ってもらいたいです」

「さかまた組」の環境教育には、科



「釧路フィッシャーマンズワーフMOO」で開催された展示会

助成団体レポート 聞いてきました! 「海洋生態系調査」 の現場

噴火湾(内浦湾)

釧路

室蘭

世界に生息する鯨類は80~90種。このうちの約25%・20種ほどが北海道沿岸で観察できるという。室蘭と釧路を拠点に、シャチなど海洋生物の調査と環境教育活動を展開する「Orca.orgさかまた組」の代表・笹森琴絵さんに活動内容を伺った。

※「さかまた」とは、漁師言葉でシャチのこと。

海の環境指標・シャチを守る!

「釧路シャチカタログ」より



シャチの背びれの形や欠け、背中の灰白色の模様(サドルパッチ)は、個体によりそれぞれ異なるため、識別の材料となっている。「さかまた組」では、長年の観察記録を基に「釧路シャチカタログ」としてデータベース化している。

取材協力
Orca.orgさかまた組
<http://homepage3.nifty.com/sakamata/>
*本ページに掲載した写真は、
全て笹森琴絵さんからご提供いただきました。



「環境フォトコンテスト2015」で選ばれた優秀4作品のうちの1点。「赤とんぼ」柯智芳、Olympus (China) Co., Ltd.

オリンパス

世界シェア約70%を誇る消化器内視鏡をはじめ、顕微鏡やカメラ、ICレコーダーなど精密機器メーカーとしておなじみのオリンパス株式会社。同社では毎年、環境月間に国内外のグループ会社を挙げて環境啓発活動を実施しています。今年、その国内イベントの一環として地球環境基金の「本de寄付」をご採用いただきました。

※「本de寄付」の詳細は、<http://www.erca.go.jp/jfge/donation/raise/hondekifu/>

サポーターインタビュー
NPOを支える方々

Heart & Heart

「水の循環」をテーマに 環境貢献活動を展開

オリンパスグループでは、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、環境にやさしい製品・技術の開発や、事業場での環境負荷削減に取り組むとともに、国内外で積極的に環境貢献活動を展開しています。

オリンパスは売り上げの約8割が海外というグローバル企業ですが、毎年6月の環境月間には、全世界共通のグローバルイベントとして従業員を対象とした写真コンテストを開催しています(テーマ:未来に残したい自然の恵み)。約千枚の応募の中から選ばれた作品をパネルにして、1年かけて国内各事業場を巡回展示する啓発ツールとして活用。カメラメーカーだけに腕に覚えのある従業員も多く、毎年ハイレベルな写真が集まります。

一方、オリンパスは製造拠点および周辺地域との関係を非常に重視しており、各拠点ごとに、その地域の特性 に 合 った 活 動 にも 力 を 入 れ て い ま す。日本国内における環境貢献活動は「森林・河川・海における水の循環」をテーマに展開。人を含め、多くの生き物に欠かせない水は、精密機器を製造する上でも不可欠。豊かな水を育む森林や河川・海の生態系の保全を図るために、地元自治体や現地の



NPO法人美ら海振興会の協力の下で実施したサンゴの植え付けの様子



長野事業場では(公財)長野県テクノ財団主催の「天竜川水系環境ビクニック」に従業員とその家族が参加



青森オリンパスがNPO法人白神山地を守る会と実施している世界自然遺産「白神山地」周辺でのフナ植樹

「全員参加」をキーワードとして、 環境月間に「本de寄付」を展開

NGO・NPOと協働連携して取り組んでいます。

例えば、長野事業場では、辰野町、門前山林組合と「森林(もり)の里親契約」を締結。上伊那地方事務所、かやぶきの館、川島区と協力し、地域の森林づくりに貢献するため、従業員と家族が遊歩道整備などに汗を流しました。また同事業場では、

公益財団法人長野県テクノ財団が1994年より主催する「天竜川水系環境ビクニック」にも継続的に参加。これは天竜川水系の市町村が一斉に河川清掃を行う4千人規模のイベント。同事業場から毎年、約200名が参加していますが、長年の取り組みが評価され2013年に主催者より感謝状が贈呈されました。

海の環境保全の事例としては、2012年より特定非営利活動法人美ら海振興会と協力し、沖縄・那覇の西方にあるチービシ環礁で行つて

環境行動を日常化できる 「本de寄付」という仕組み

毎年6月に実施する環境月間は、今年で41回目を迎えた息の長い取り組みです。期間中、オリンパスでは前述したグローバルイベントのほか、日本で行う国内イベント、国内外の各拠点での独自イベントの3種類のイベントが行われます。

国内イベントで今年新たに採用されたのが、地球環境基金の「本de寄付」。その経緯を同社の執行役員北村正仁さんはこう話します。

「従来、国内イベントは、外部の著名人を招いて行う環境講演会といった勉強会形式でした。しかし『何らかのアクションを伴わないと、最終的な貢献にはならないのではな

いか?』ということ、新しい活動案を検討

お話を伺った**北村正仁さん**
オリンパス株式会社
執行役員
メディカルアフェアーズ・CSR統括室
CSR本部長

「今年からキーワードとして『全員参加』を掲げたので、まず誰でも気軽に取り組めること。次に、4〜5人の小さな営業所から5千人規模の事業場まで、規模や場所を選ばないこと。それから、社内で完結するのではなく、家庭にまで持ち込めるのが面白いですね。『読まなくなった絵本はない?』と、親子の会話のきっかけになるなど、従業員にも好評を得ています。

今後継続していく、ゴールデンウィークの片付けや異動などで要らなくなった本は6月の環境月間に出す、という流れになればと考えます。『本de寄付』は、特別に意識しなく

*写真提供: オリンパス株式会社



日本全国から年間約5千名もの来場者がある、東京・八王子のオリンパス技術歴史館「瑞古洞(ずいこう)」



大腸がん検診・精密検査啓発の一環で、NPO法人フレイブサークル運営委員会の「大腸がん撲滅トイレ紙」を社内外へ配布



オリンパスグループ社員による地域でのボランティア活動「わくわく科学教室」

新しい助成メニューのご紹介

「特別助成」がスタート!

「特別助成」とは?

地球環境基金では本年度より2020の開催に向け、
環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントの創出を目指す
支援制度「特別助成」をスタートしました。

助成団体の紹介

本年度、「特別助成」を受ける団体は次の3団体です。

1
一般財団法人地球・人間環境フォーラム

2
NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

3
一般社団法人湘南海洋教育スポーツ振興協会

「特別助成」に 企業も支援

総合警備保障株式会社 (ALSOK)



総合警備保障株式会社
常務執行役員
鈴木基久さん

「特別助成」については、総合警備保障株式会社(ALSOK)からも、その主旨にご賛同いただき、ご支援いただくこととなりました。同社の常務執行役員・鈴木基久さんは、その経緯を次のように話されました。

「ALSOKの創業は1965年。その前年に開催された東京オリンピックでは創業

者の村井順が組織委員会事務局次長を務めたこともあり、オリンピックには会社としても特別な思い入れがあります。東京2020オリンピック・パラリンピックではオフィシャルパートナーを務めさせていただきますが、国家的事業での安全・安心面で貢献できればと考えています。

また、弊社の環境活動の事例としては、昨年、創立50周年記念活動の一環として、NPOと協働し東日本大震災の“隠れた被災地”といわれる千葉県山武市の海岸に約2千本のクロマツを植樹しました。これが地域の人々を守る立派な防災林に再生するよう、今後も継続し

て下草刈りなどの活動に取り組んでいく予定です。

今回の『特別助成』への協力は、弊社が重視する『オリンピック』と『環境』という2つのテーマに合致したからです。地球環境基金を通じたNGO・NPOへの支援と合わせて環境面からも2020年のオリンピック・パラリンピックをサポートしたいと考えています」

ご存じの通り、同社はスポーツ活動も盛んで、リオデジャネイロ大会へはレスリングの伊調馨選手をはじめ社員8名が日本代表として参加しました。2020年の東京大会での活躍にも期待したいですね。



中央：山武市 椎名市長、中央右：ALSOK 青山社長



地球環境基金のサポーター

地球環境基金をご支援くださった方々

地球環境基金に、平成28年1月から6月末までにご寄付・ご支援くださった方々は下記のリストのとおりです。個人や企業・団体としてご協力いただいた方はもちろん、さまざまなイベントを通じて募金活動にご参加・ご協力いただいた大勢の方々に深く御礼申し上げます。

平成28年1月から6月末日現在までに459件、総額 **13,558,192円** のご支援をいただきました。ありがとうございました。

個人		イーパートナーズ株式会社	環境省 総合環境政策局環境経済課
赤本 公孝	篠原 裕幸	有限会社インターリンク	環境省 大臣官房政策評価広報課
秋元 良一	篠原 泰	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	環境省 大臣官房秘書課
アドバンスクラブ会長	嶋元 誠	フロキュアメント部	佐賀市役所 大和支所 環境課
梶谷 尚久	鈴木 香織	株式会社大室明治也	佐野市役所 環境政策課
飯島 さよ子	鈴木 康夫	オリンパスグループ	山陽小野田市役所 市民生活部 環境課
飯田 浩二	高井 直人	協栄産業株式会社	志木市役所 市民生活部 環境推進課
飯田 登代子	龍原 梢	有限会社倉田商店	上越市役所 環境保全課
石田 知子	TATEISHI PAULA	株式会社ジェイアール西日本ディリーサービスネット	高松市役所 庵治支所
伊藤 文子	NAOMIKAWABATA	JNC株式会社	千葉市役所 環境局 環境保全部 環境保全課
伊藤 與志子	谷山 正恵	株式会社ジャパングリエイト	東温市役所 市民福祉部 環境保全課
井上 雅晴	千葉 昇	株式会社そごう・西武	東海村役場 環境政策課
今井 辰三	長 梅	株式会社第一環境	東北地方環境事務所 環境対策課
碓井 彊	梶屋 岳洋	株式会社橋フィナンシャルグループ	富里市役所 市民経済環境部 環境課
内野 理奈	中島 邦子	株式会社トーカイ	登米市役所 登米総合支所
大塚 紀久子	永島 織江	東光電機工業株式会社	中札内村役場 総務課
岡崎 孝子	西久保 裕彦	トータリゼータエンジニアリング株式会社 園田分室	仁淀川町役場 町民課
岡田 一天	西山 哲夫	日本紙通商株式会社	彦根市役所 生活環境課
岡野 敬徳	野田 武司	阪急阪神ホールディングス株式会社	水見市役所 市民部 環境・交通防犯課
岡本 昇	土生 亜紀子	株式会社引越一番	松江市役所 宍道支所 市民生活課
小田 龍太郎	林 大八郎	ファミリーマート 美濃上条店	水保病情報センター
加川 きよ子	福木 喜久子	株式会社富士通エフサス	山梨県庁 森林環境部 森林環境総務課
片岡 真一	藤田 周一	ブックオフコーポレーション株式会社	
加藤 信幸	堀江 正義	三井住友カード株式会社 東京法人営業部	
鴨原 明	牧 美穂	三菱UFJニコス株式会社	
唐澤 竜一郎	真崎 朋子	リネットジャングループ株式会社	
河合 美佐代	松本 優子	ワコーエンジニアリング株式会社	
川邊 康子	松本 大		
菊池 康子	道添 直也		
木下 夏希	湊 亮策		
草薙 智紀	村岡 千秋		
組谷 雅一	矢尾 誓之		
蔵重 徹雄	山岡 建雄		
倉嶋 江実	山崎 幸恵		
黒岩 玲子	山田 秀明		
小口 幹夫	山本 有希		
後藤 佳子	吉田 一博		
小林 聡子	吉田 英樹		
小林 大	吉田 実		
齋藤 史恵	吉田 寧		
酒井 航介	米田 高春		
佐藤 元基	リネットジャパングループ株式会社		
佐藤 ようこ	お客様		
佐野 郁夫			
企業		国・地方公共団体	その他
株式会社アクセル		蓬田村役場 総務課	岩見沢子ども環境保全づくり協議会
アーク引越センター株式会社		阿賀町役場 上川支所	岩見沢子ども栗東こうえきづくり協議会
浅香工業株式会社		秋田県 湯沢市	岩見沢商工会議所
株式会社朝日フィナンシャルグループ		天草市役所 市民生活部 市民生活課	エコライフ・フェア2016
		飯田市役所 環境モデル都市推進課	NTT全国OB会 電友会五ツ橋クラブゴルフサークル
		斑鳩町役場 環境対策課	加古川市立東加古川公民館
		指宿市役所 市民生活部 環境政策課	カワタ製菓
		雲仙市役所 千々石総合支所	財団法人キープ協会 環境教育事業部
		大木町役場 環境課	一般社団法人JFTD
		海津市役所 市民環境部 環境課	省エネ住宅ポイント事務局
		鎌倉市役所 環境政策課	しょうないREK事務局
		環境副大臣室	協同組合仙台卸商センター
		環境事務次官 官房長室	地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2016
		環境省 環境保健部 石綿健康被害対策室	筑後川中流域水質汚染防止対策協議会
		環境省 環境保健部企画課	学校法人中村学園
		環境省 自然環境局 総務課	一般社団法人日本釣用品工業会
		環境省 総合環境政策局 総務課	公益財団法人山形美術館
		環境省 大臣官房総務課情報公開閲覧室	リサイクル汽車ボツボ
		環境省 地球環境局 総務課	(五十音順・敬称略)
		環境省 廃棄物・リサイクル対策部企画課	
		環境省 水・大気環境局総務課	

■「地球環境基金便り41号」 読者アンケートにご協力ください

アンケートは、このページのアンケートはがき、およびホームページ「地球環境基金の情報館」のアンケートページ (<https://www.erca.go.jp/jfge/info/publicity/tayori/form/41.php>) において受け付けております。皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

Present

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に、地球環境基金オリジナル・エコバッグをプレゼント(応募締切:平成29年2月末)。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



■ご寄付口座のご案内 「地球環境基金」へのご寄付は、下記口座より受け付けております。お振込みの手数料は無料です。

銀行名／支店名	口座番号	口座名称
ゆうちょ銀行	00190-0-664214	地球環境基金
新生銀行／本店	普通預金 0789699	独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金
三井住友銀行／東京公務部	普通預金 3013615	
三菱東京UFJ 銀行／本店	普通預金 7637448	
みずほ銀行／本店	普通預金 2413416	
りそな銀行／赤坂支店	普通預金 1023850	

同一金融機関でのお振込みについては、取り扱い窓口でお申し出ください。

①独立行政法人環境再生保全機構は、特定公益増進法人に指定されており、税制上の優遇措置を受けることができます。
②ゆうちょ銀行以外の銀行からお振込みいただく場合には、領収書が発行できません。領収書の発行を希望される方は、お手数ですが、地球環境基金部基金管理課(TEL:044-520-9606)へご連絡ください。
※この他にも、クレジットカードを利用したご寄付や、楽天銀行を利用したご寄付が可能です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。
地球環境基金の情報館 <http://www.erca.go.jp/jfge/>